

令和6年度 林木育種成果発表会

～多様な森林の造成・保全と
持続的資源利用に貢献する林木育種～

令和7年2月21日(金) 13:30～17:05
オンライン開催（事前申し込みが必要です）

林木育種センターと森林バイオ研究センターでは、再造林の低コスト化、花粉発生源対策、気候変動適応等の社会的、経済的ニーズに対応した優良品種を開発することに加え、ゲノム編集による育種技術、効率的な形質評価技術、原種苗木の増産技術等を開発し、品種開発や原種苗木生産の高速化、効率化を進めています。また、気候変動や外来種が生物多様性に及ぼす影響も考慮し、林木遺伝資源の収集・保存に取り組んでいます。

令和6年度育種成果発表会では、林木育種センターと森林バイオ研究センターが取り組む、最新の林木育種の研究成果を発表します。

令和7年2月21日(金) 13:30～17:05

※発表題名については、変更となる場合があります。

◎ 特別講演 育林DX：データ駆動型育林システムの開発

東京大学大学院農学生命科学研究科
生産・環境生物学専攻 教授 岩田 洋佳

◎ 特別報告 徳島県の実生スギコンテナ苗安定供給に向けた取組

徳島県立農林水産総合技術支援センター
資源環境研究課 森林資源・鳥獣担当
専門研究員 藤井 栄

○ 成果発表（林木育種センター・育種場・森林バイオ研究センター）

令和6年度の品種開発

育種部 育種第一課
育種調査役 大平 峰子

気候変動適応のためのスギ耐乾性品種の開発

育種部 育種第一課
主任研究員 能勢 美峰

クリーンラッチ採種園での球果採取適期の解明に向けた取組

北海道育種場 育種課
研究専門員 生方 正俊

東北育種基本区におけるマツノザイセンチュウ抵抗性育種の取組

東北育種場 育種課
課長 井城 泰一

ネイチャーポジティブの達成に向けた林木ジーンバンク事業での
取組 一絶滅危惧種オガサワラグワの保全研究一

遺伝資源部 保存評価課 特性評価研究室
主任研究員 遠藤 圭太

南西諸島におけるテリハボク育種研究の取組について

指導普及・海外協力部 西表熱帯林育種技術園
園長 三浦 真弘

ゲノム編集技術を使い木質の形成を理解する

森林バイオ研究センター 森林バイオ研究室
主任研究員 高田 直樹

主催：（国研）森林研究・整備機構
森林総合研究所 林木育種センター
森林総合研究所 森林バイオ研究センター

お問合せ先：育種企画課 長谷部・森山
TEL：0294-39-7002
FAX：0294-39-7306
E-mail：ikusyu@ffpri.affrc.go.jp



Webサイト

申込方法等詳細はWebサイト <https://www.ffpri.affrc.go.jp/ftbc/research/news/2024/r6seikahappyokai.html>をご覧ください。